

## 卒業後の進路を考え職業を知ろう 今の学習を活かせる生き方を 再スタート

◆1学期に特集「卒業後の進路を考え職業を知ろう～今の学習を活かせる生き方を～」①～⑧を掲載したのを覚えているだろうか？  
 進路通信 46号、47号、48号、49号、50号、51号、52号、53号です。もう一度、見直していただければありがたいです。

◆さて、この特集「卒業後の進路を考え職業を知ろう」の後半⑨～を明日水曜日から再開しようと思います。様々な職業をジャンルに分けて（商業・工業・農業・国際・家庭・医療・水産・理数・体育・芸術など）見ていきますが、ほんとに職種の多さに驚くとともに、知らなかった職業も出てくると思います。

話が変わりますが・・・

◆最近、退職年齢を65歳まで伸ばそうとする動きが政府から出ている。年金の財源がないから、年金支給年齢を70歳まで伸ばすため？ 現在は60歳で退職、65歳まで希望すれば再任用等で働くことができるが、年金の支給は65歳から・・・。<若者の人口が減り、高齢者の人口が増えているからね。まだピンと来ないかもネ！>

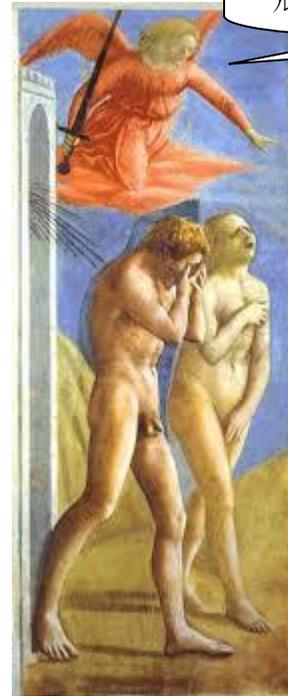
◆以前なら年金支給は60歳（退職と同時に）からだったので、僕も一昨年度から悠々自適で、静かな生活を送れるはずだったのだ！！しかし年金支給が65歳まで引き上げられ、退職後が食えないので65歳までは働かなくてはならない。

◆日本では、「労働」は尊く、価値あるものであるが、欧米（キリスト教圏）から見たら、日本のこの高齢者の労働は奇異に映るらしい。旧約聖書では、労働は、神が与え罪だからネ。

◆まあそれは横において、君たちの老後は、どうなるんだろうか？年金制度は破たんし、死ぬまで働き、病院に行けば5割負担とか・・・未来は暗い？明るい？  
 君は、将来どんな職業に就こうとっていますか？  
 どんなライフスタイルを望んでいますか？  
 将来の君が描く幸せは？

追伸  
 旧約聖書では、労働は、神が与え罪だからネ。の雑学を！！右に載せておきます。  
 宗教によって、死生観は違うからね。授業でも話しましたが・・・

天使の階級のうち、最上級に位置する熾天使セラフィムの次に位が高いのが智天使ケルビムです。『創世記』の中でアダムとイヴを追放した神は、ケルビムに炎の剣を与えてエデンの園の門番としました。



上の作品は、かの有名なミケランジェロが描いた「原罪と樂園追放」システィーナ礼拝堂天井画ルネサンス3大巨匠の一人だ！（あと二人は、ダ・ヴィンチ と ラファエロ）

左はルネサンスの理想を方向づけたマザッチオの「樂園追放」  
 明暗の調子で肉付けされた量感あふれる人物表現  
 ルネサンス以前は、このような表現は禁じられていた。

●「知恵の樹」は、エデンの園の中央部にあった2本の木のうちの一つで、もう一つは「生命の樹」。「知恵の樹の実」を食べると、神々と等しき善悪の知識を得るとされる。知恵の樹の実はいかにも美味しそうで目を引き付けるとされる。

●『創世記』によれば、人間はエデンの園に生る全ての樹の実を食べても良いが、知恵（善悪の知識）の樹の実だけは、食べることを禁じられていた（禁断の果実）。なぜなら知恵の樹の実を食べると必ず死ぬからである。

●しかし人間を神に背かせようとする蛇に唆されて、初めにイヴが、その次にイヴの勧めでアダムが知恵の樹の実を食べたことによって、善悪の知識を得たアダムとイヴは、裸の姿を恥ずかしいと思うようになり、イチジクの葉で陰部を隠した。

●それにより神は事の次第を知り、知恵の樹の実を食べた人間が生命の樹の実までも食べ永遠に生きるおそれがあることから、アダムとイヴはエデンの園を追放される。この出来事を「失樂園」という。キリスト教ではこの出来事は神に対する不服従の罪であり原罪とされるが、ユダヤ教には「原罪」というものは存在しない。

●この出来事により人間は必ず死ぬようになり、男には労働の苦役が、女には出産の苦しみが、もたらされるようになった。蛇は神の呪いを受け地を這いずることになった（蛇に足が無いことの起源）。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア』より